



雄勝地区の医療支援活動 について

石巻合同救護チームとの連携



石巻市雄勝地区について

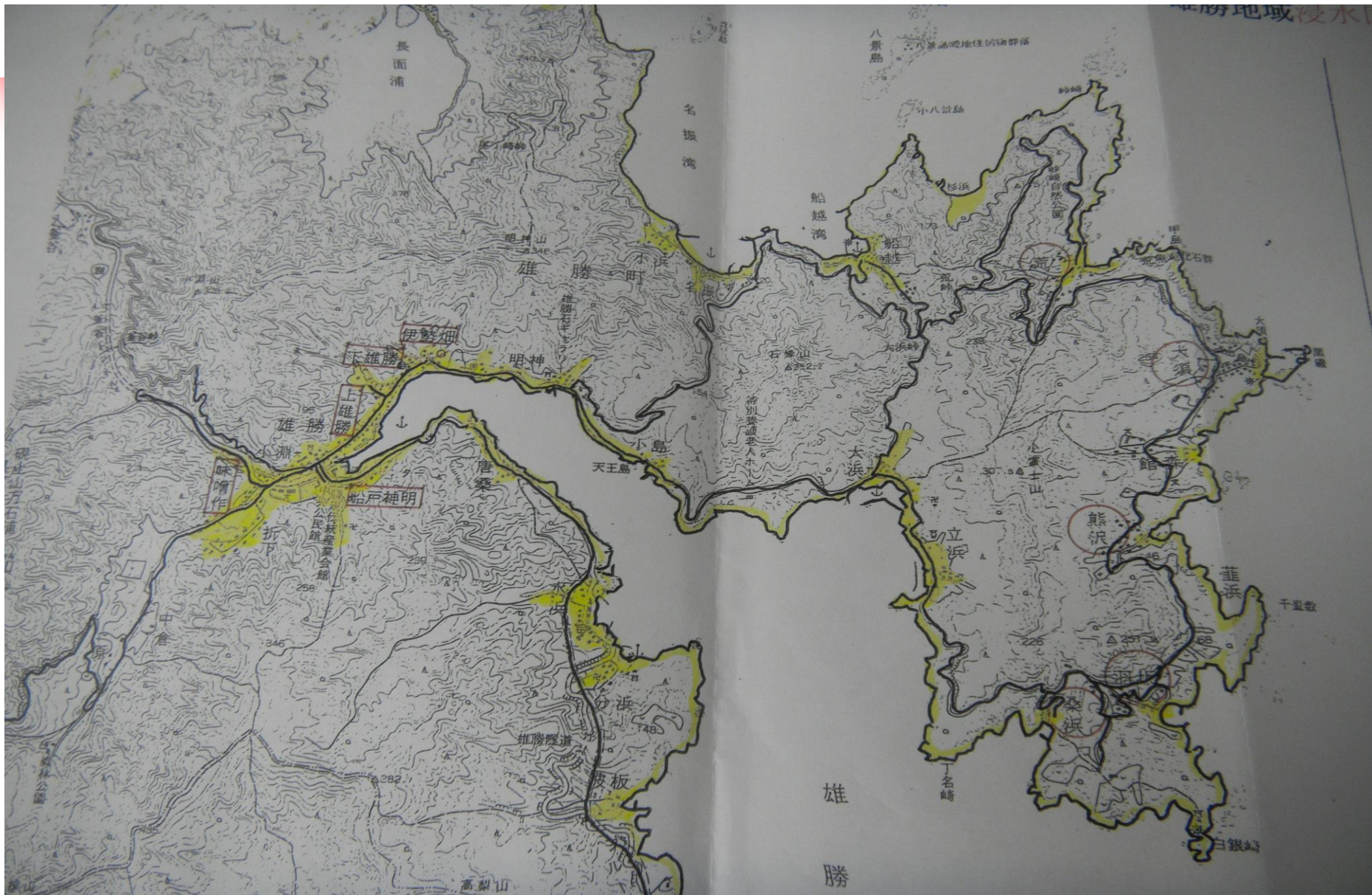
- 宮城県北東部、大平洋に面する町で平成17年に合併し石巻市となる。
- 町の面積の80%以上は山林をしめる。
- リアス式海岸の地形のため、平坦な土地が少ない。
- 人口4,300人
- 世帯数 1,637世帯

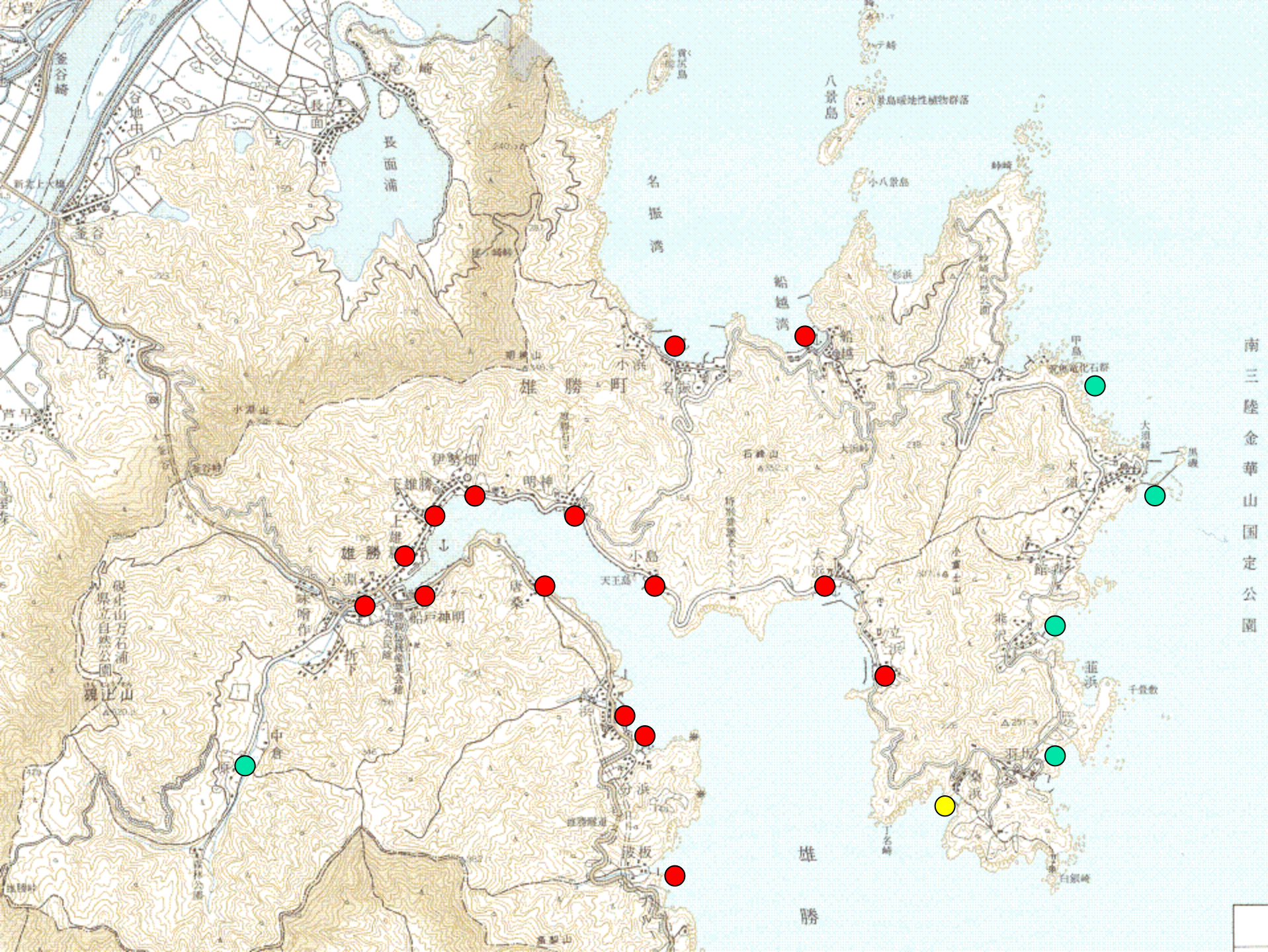
(平成23年2月末現在)

石巻市雄勝地区の位置



雄勝浸水区域





南三陸金華山国定公園



雄勝総合支所管内に係る被害状況について

- 人的被害状況

①死亡確認者	144名	}	合計236名
②行方不明者	92名		

- 市の施設における被害状況

- ①全壊 雄勝総合支所・雄勝公民館・雄勝小学校
雄勝中学校・雄勝病院・B&G海洋センター・雄勝伝統産業会館・船越小学校など
- ②流出 雄勝保育所・・母子健康センター・など

発災当初の現状







雄勝総合支所管内に係る被害状況について

- 家屋被害状況

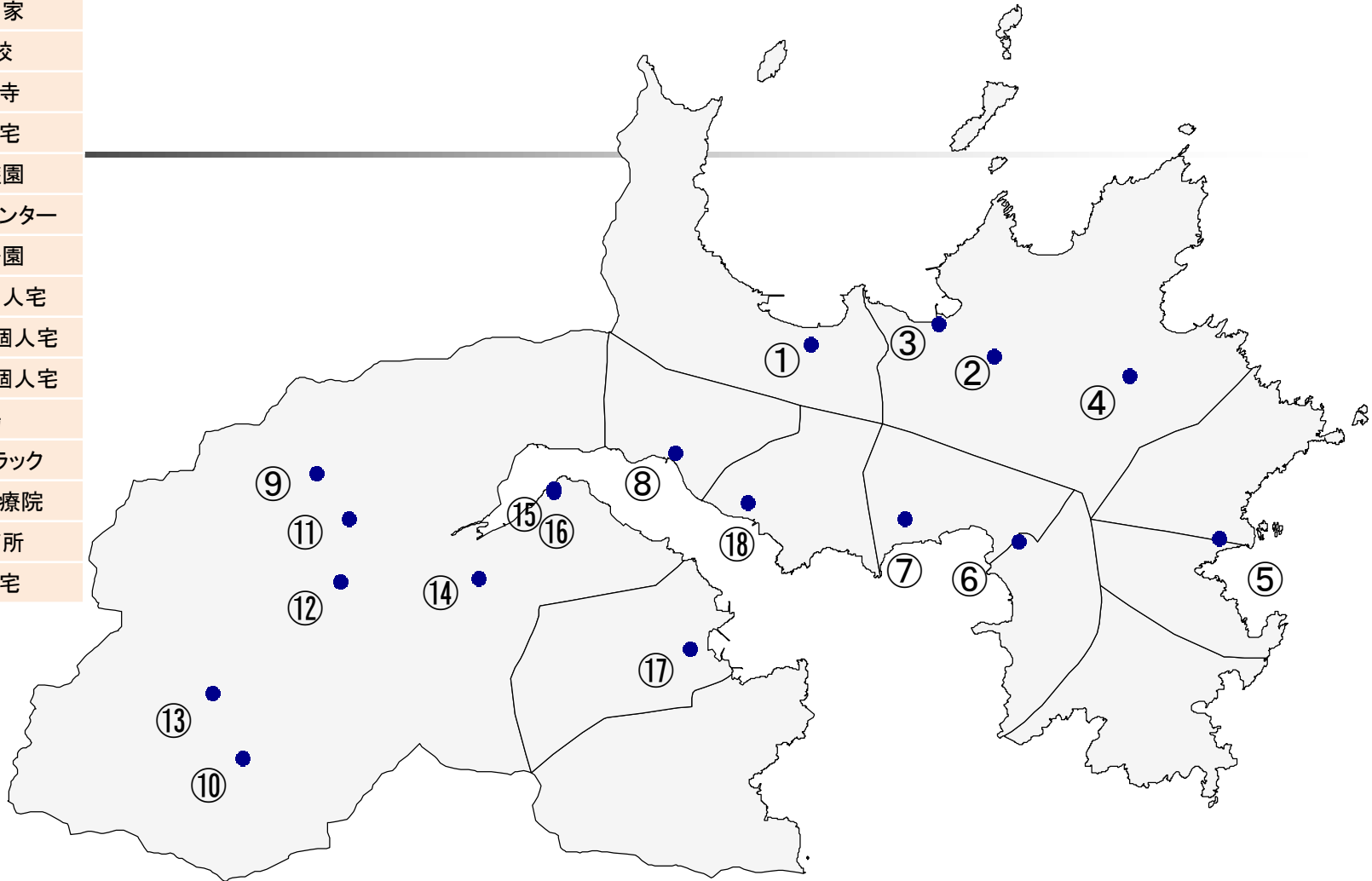
①全壊・流出	1 3 0 4棟	(79.7%)
②大規模半壊	1 9棟	(1.2%)
③半壊	7 7棟	(4.7%)
④一部位損壊	6 7棟	(4.1%)
合計	1 4 6 7棟	(89.6%)

- 避難所開設状況

①避難所数	23箇所	(最大ピーク時3 / 15)
②避難者数	2163人	(最大ピーク時3 / 15)

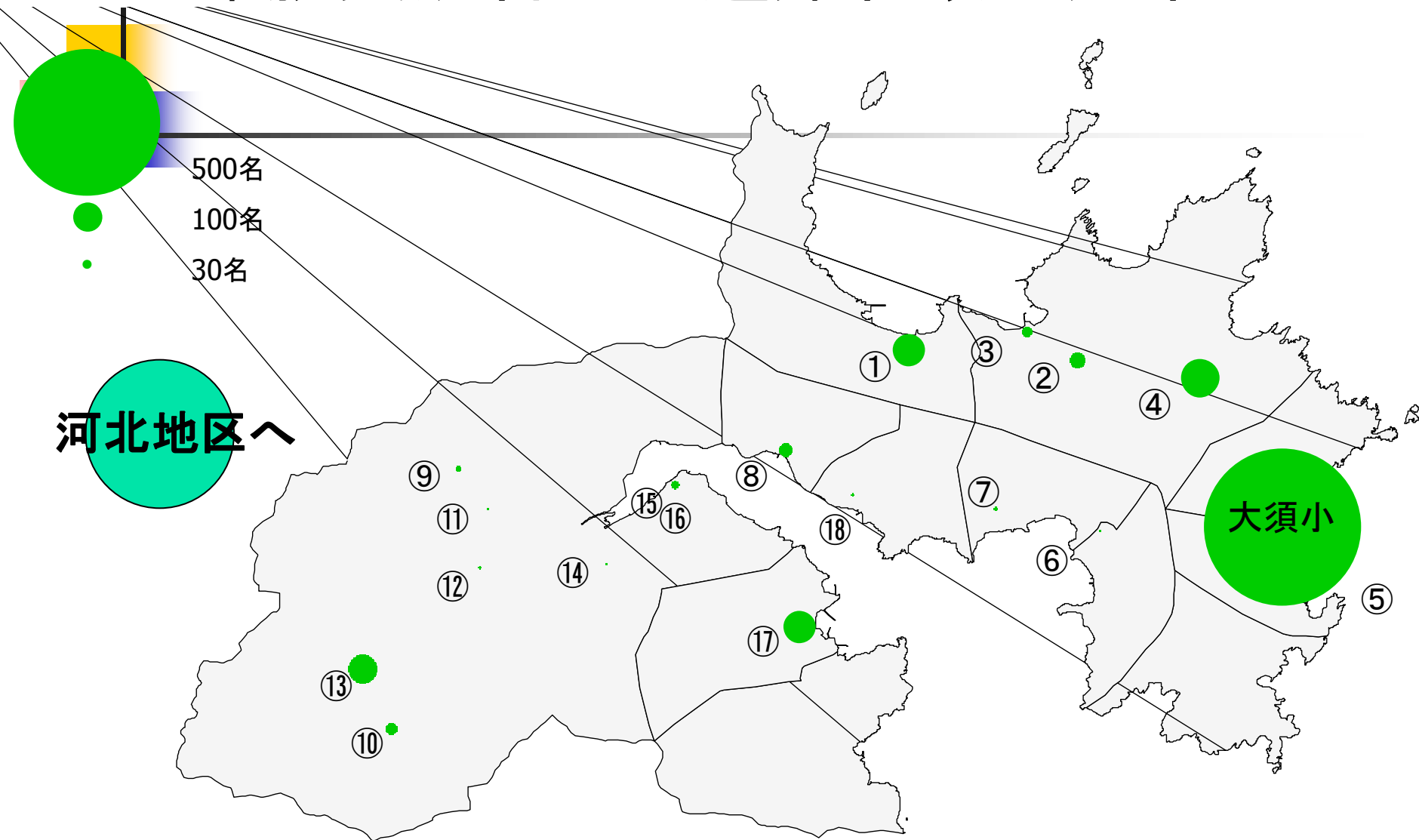
雄勝支所管内の避難所

1	名振コミュニティセンター
2	船越 中里宅
3	船越 清水宅周辺
4	荒老人憩の家
5	大須小学校
6	立浜 龍澤寺
7	大浜 近藤宅
8	明神児童遊園
9	雄勝クリーンセンター
10	雄勝森林公園
11	木塞神周辺個人宅
12	上野住宅周辺個人宅
13	原地区十九軒個人宅
14	雄勝斎場
15	唐桑 佐藤トラック
16	唐桑 岡崎治療院
17	旧水浜保育所
18	小島 佐藤宅



2011年3月31日のデータを元に作成

雄勝支所管内の避難者数の分布





雄勝地区の状況（発災当初）

- 救護所の立ち上げは不可能
- 市立雄勝病院及び2つの民間医院の全壊により無医地区となる
- ライフラインが全て絶たれる
- 交通手段が無い（車が流出）ガソリン不足
- 連絡手段が無い（情報がまったく入らない・発信できない）



災害対策支部での仕事

- 総務、医療、物資、避難所運営などに分かれる
- 保健師が直接避難所に配置されず医療班として避難所の健康調査、医療チームの調整などを行う
- 公用車も全て流され避難所健康調査も十分出来ない
- 文具やテーブルといったものもなく、いろいろな作業をするにも、不便を感じることも多かった
- 住民の安否確認を優先に行う
- 各避難所は住民達が自ら運営していた



職員の状況

- 家族にあえない日々の中での仕事は不安も多く、職員も被災者だが、家庭のことは後回しの状態であった
 - （住居探し、身元不明の家族の搜索など）
- 寒さとの戦い（夜間も薄い毛布では寒く、身震いで目をさます日々を送ること数回）
- 食器もなくペットボトルを切って利用していた
- 体調不良者も多数（目、血圧、便秘、下痢）



医療チーム支援状況

- 3月14日に京都の赤十字社より医療チームが始めて災害対策雄勝支部に来る。
(このとき薬を少しだけいただく。)
その後保健師が避難所健康調査に向かうと、医療チームが支援に来ているとの声を聞くも、何のチームが支援に来たのかは不明。
- 3月18日に自衛隊医療チームが視察にくる
- 3月19日より医療チームが朝に災対支部に寄り、帰りに申し送りをしてもらう態勢となる。



医療チームの支援状況

- 雄勝地区の被災状況、避難場所、道路状況説明等の申し送りを、違う医療チームのため、毎日しなければならない。
- 医療などの情報がまったくないため医療チームの申し送り事項は貴重な情報であった。
- 衛生教育のアドバイス
- アセスメント用紙などはコピーしてもらおうとありがたかった。

避難所別収容者数日計集計表

No	1 名振コミュニティセンター	2 船越 (清水モーターズ) 中里宅	3 船越 清水宅周辺	4 荒老人憩の家	5 大須小学校	6 立浜 横江宅	7 立浜 龍澤寺	8 大浜 近藤宅	9 小島(雄心苑)	10 明神児童遊園	11 雄勝クリンセンター	12 雄勝森林公園	13 原地区十九軒	16 雄勝斎場	17 唐桑 佐藤トラック	18 唐桑 岡崎治療院	19 唐桑 高台の家	20 旧水浜保育所	21 分浜 秋山金治郎宅	22 波板老人憩の家	23 小島 佐藤宅	24 味噌作 木塞神	入釜谷・針岡	市職員(災害本部) <small>※集計に含めない</small>	避難所収容者合計	
当初	156	87	34	143	743	50	53	71	40	91	80	243	10		22	8	10	237	6	32	10	2			2,128	
3月17日																									0	
3月18日																									0	
3月19日					日赤																			30	0	
3月20日	日赤	日赤	日赤					自衛隊		自衛隊	日赤・自衛隊			自衛隊				日赤							0	
3月21日									山王	山王								金沢大学病院							0	
3月22日	自衛隊					金沢大学病院	金沢大学病院							金沢大学病院	金沢大学病院						金沢大学病院			金沢大学病院	0	
3月23日		石川県立中央	金沢大学病院	自衛隊					金沢大学病院	金沢大学病院	金沢大学病院	金沢大学病院	金沢大学病院	石川県立中央	石川県立中央	石川県立中央		石川県立中央								0
3月24日	自衛隊			自衛隊	ジャパンハート	熊本県支部	熊本県支部		山王	山王	石川	石川	石川	石川県立中央	石川県立中央	石川県立中央		中央			熊本県支部		中央		0	
心のケア									小原高原	小原高原								小原高原								
3月25日		自衛隊	自衛隊															カナダ						広島県医師会 県立石川中央病院	0	
3月26日						つるぎ	つるぎ				穴水	穴水	穴水	穴水	広島医師会	広島医師会							つるぎ		0	
3月27日	心のチーム・自衛隊					つるぎ	つるぎ		穴水・三山		心のチーム・穴水	穴水	穴水					心のチーム・広島医師会					つるぎ	長野日赤	0	



毎日の日課（3月27日～5月15日）

- 災対支部が場所を支所前のプレハブへ移すが、やはり申し送りは変わらず毎日あり。
- 合同救護チーム、自衛隊、個人支援の医師、医療ボランティアチーム、など多くの支援が入るが、調整が必要となっていく。
- 薬の処方の問題もあり。
- 3月末にはエリア化され、エリアごとの申し送りやカルテの管理が始まる。



医療チームの支援

- 行政では出来ない避難所のアセスメントを実施
- 不足する物資の提供
- 薬品の提供
- 医療情報の提供
- 専門医師の派遣
- 避難所での衛生教育
- 申し送りのおかげで、こちらが見ていない住民でも状況がすぐに把握できる。
- 職員へのいたわり

毎朝の風景（職員会議）



プレハブ支所での不便さ

- 支所周辺は水道が出ないため不衛生であった。
- 発電機を利用するも調子が悪いと、途中で止まる
- 各課に衛星電話が2台あり、連絡が取れるようになる
- 狭いため外での申し送りだが、雨が降るとプレハブ内は人で溢れる。

名振地区のみなさんへ

毎週 **水曜日・土曜日** に医師の巡回診察を予定しております。診察を受けたい方、お薬がほしい方は、ぜひ都合をつけていただくようお願いいたします。

時間帯は、**10 時頃～11 時頃に診察開始**を予定しておりますが、救急や道路状況などの影響により変更となる恐れがありますのでご了承ください。

また、巡回予定にない曜日でも緊急の場合は診察に回っていただくことも可能ですので、災害対策本部雄勝支部保健福祉課までご相談ください。

災害対策本部雄勝支部保健福祉課
衛星電話 090-2299-2410



業務の変化（5月15日以降）

- 3回目の引越し（現在の支所に移る）
- ライフラインの復旧
- 救護所を開所し、午前は避難所への巡回診療、午後は救護所での診療を開始
- 医療チームの取りまとめは雄勝病院看護師へスライドしていった。
- 支所保健師は本来の保健福祉業務＋災害業務となる

デイサービスセンター更衣室 での救護所開所







雄勝診療所開設に向けて

- 市立雄勝病院は再開しないとの市の決定をうけて、診療所開設に向けて動きだす。
- 宮城県災害医療コーディネーターの石井医師に協力をいただき、県や市の医師会へ、必要性を訴えてもらう。
- 医療機器の整備や仮設診療所の建設、医師探しなどを手探りの状態で行う。
- 本庁や県との協議。



医療関係活動

- その間、救護所の環境整備のため、石巻赤十字病院や派遣の医療救護班に相談し、アドバイスを受ける。
- 救護所での検査機器の整備
- 感染症予防などの啓発活動
- 雄勝病院看護師による訪問看護開始
(8月末頃から)



医療関係以外の業務

- 母子保健対策（乳幼児健診開催）
- 精神保健対策（メンタルヘルスチームの訪問調整や申し送り）
- 高齢者対策（地域包括支援センターと連携して介護保険対象者や、高齢者の調査、要介護認定申し込みの増）
- ボランティアアリハビリチームの調整
- 東北大学との事業締結に伴う事業開始
- マスコミ対応

雄勝診療所完成



今の雄勝の現状

- 人口の流出が進み現在の人口1,300人
- 世帯数530世帯
- 仮設住宅8箇所
- 入居者数328名
- 仮設住宅への見守り隊が活躍している
- 多くの市民が地区外で暮らしている



今の雄勝の現状

- 復興へ向かっている？
- 瓦礫の撤去も終わらない状態
- 復興はまだまだ遠い
- 住民のこころの復興もまだ・・・



今の雄勝の現状



発災当初の現状



少しずつ復興しています。



震災を経験して

- 災害マニュアルは通用しない状況であったが、事前に想定し訓練しておくことが大切
- マニュアルだけにとらわれず、一人ひとりがスキルアップをしておくことが大切
- 同じチームが継続的に来てくれるか、違うチームでも申し送りを必ずしてもらおうと有り難い
- 避難所のキーパーソンを確認して、その方を中心とした住民ケアが大切
- 市町村には保健師が必ずいるため、市町村災害対策本部で状況確認をしてはどうか
- 職員と支援者のギャップもあり、混乱している状況でのアドバイスが・・・



ご静聴ありがとうございました